



令和3年8月4日

各位

上場会社名 パラカ株式会社
代表者 代表取締役 内藤 亨
(コード番号 4809)
問合せ先責任者 執行役員管理本部長 安部 雅子
(TEL 03-6841-0809)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

令和3年9月期通期業績予想について、最近の業績動向等を踏まえ、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

(1) 令和3年9月期通期個別業績予想数値の修正（令和2年10月1日～令和3年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,500	1,750	1,500	1,030	103.51
今回修正予想(B)	11,700	1,730	1,500	950	95.47
増減額(B-A)	△800	△20	0	△80	—
増減率(%)	△6.4	△1.1	0.0	△7.8	—
(ご参考)前期実績 (令和2年9月期)	12,471	1,393	1,185	748	75.51

(2) 修正の理由

当社の属する駐車場業界においては、一度目の緊急事態宣言が令和2年5月に解除されて以降、徐々に売上高は回復し、令和2年10月の売上高においては、前年同月比91.9%まで改善いたしました。しかしながら、11月下旬頃より新規感染者数が増加し始め、令和3年1月には二度目の緊急事態宣言が発出される事態となったため、景況感大幅に悪化し、特に繁華街周辺、商業施設周辺、パークアンドライド型の駅前立地の駐車場について、再び売上高が減少いたしました。二度目の緊急事態宣言は3月に解除されましたが、その後も断続的に緊急事態宣言が発出されており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中で、当社は引き続き、不採算駐車場の解約、還元方式への移行、賃料変更など売上原価の削減に努めると共に、新規開設についてはこのような状況下でも収益が確保できる物件に限って行っております。

令和2年11月6日付公表の通期業績予想数値については、下半期にかけて新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に収束し、売上高及び売上原価（主に賃料）が共に増加する想定のもと作成しておりましたが、上記のような状況が継続しているため、売上高について予想数値を下方修正いたします。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、当社収益の回復が従来想定より遅れている中で、既存精算機をアプリ決済に対応させるための先行投資やアプリリリース時のクーポン配布等のキャンペーンが時期尚早であることから、駐車場決済アプリのリリースを無期限で延期することとし、その延期に伴い駐車場決済アプリ（付随システム含む）に係るソフトウェア仮勘定全額（112百万円）を第3四半期決算において減損損失として計上いたしました。そのため、当期純利益についても予想数値を下方修正いたします。

なお、令和3年9月期の期末配当金の予想につきまして、修正はございません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

以 上